

相談支援部会 活動報告

テーマ：	＊相談援助職としての知識や技術の向上を図る。 ＊地域課題の抽出と協議会内での共有・協議を行い、改善・解決を目指す。 ＊障がい・高齢・医療分野等との多職種連携を進め、障がいのある方のよりよい地域生活支援をすすめる地域づくりを目指す。		
日時	場所	参加人数	内容
4 月 8 日（月） 16:00～17:30	須磨区役所	11 名	第 1 回定例会 ・令和 5 年度の振り返り ・今年度の活動内容について検討 ・情報共有等
6 月 3 日（月） 16:00～17:30		13 名	第 2 回定例会 ・主任ケアマネ「事例検討交流会（7/12）」について ・座談会（受け入れ状況や最近のケースのこと等） ・3 区合同相談支援部会（10/3）の内容について
7 月 12 日（金） 15：00～16：30		45 名 （うち部会 員 8 名）	主任ケアマネとの事例検討会 ・グループワーク（事例検討） ・障害者相談支援センターからのコメント
8 月 5 日（月） 16：00～17：30		7 名	第 3 回定例会 ・主任ケアマネとの事例検討会（7/12）の振り返り ・その他 情報共有等
10 月 7 日（金） 15：30～17：00		15 名	第 4 回定例会 ・3 区合同相談支援部会（10/3）の振り返り ・座談会 ・その他 情報共有等
12 月 2 日（月） 16：00～17：30	北須磨支所	12 名	第 5 回定例会 ・運営委員会の報告 ・座談会 ・その他 情報共有等
2 月 3 日（月） 16:00～17:30	須磨区役所	12 名	第 6 回定例会 ・1 年間の振り返り ・神戸市自立支援協議会研修の共有 ・座談会 ・「にも包括」普及啓発イベントの報告 ・その他 情報共有等

【成果】

- ・定例会に参加する機関が増え、訪問看護師や地域福祉ネットワークカーからも意見が聞ける機会となっている。
- ・座談会の中で困難ケースなどを相談でき、他事業所との交流や情報共有の機会になっている。
- ・ケアマネジャーとの交流会では、制度の違いによるケアマネジャーの困り事を知ることができた。

【課題】

- ・介護保険制度との違いによる各機関との連携の難しさを少しでも解消するため、ケアマネジャーや居宅介護のサービス管理責任者には、障害福祉サービスや相談支援事業所のことをもっと知ってもらう機会が必要。
- ・令和6年度は年間を通して座談会を開催し、検討課題や地域課題が挙がっている。これらを整理しながら、相談支援部会として須磨区の地域課題について協議する必要はある。

【令和7年度に向けて】

- ・事業所同士が横の繋がりの中で相談支援の質を高め合っていくために、定例会は2ヶ月に1回の開催とし、タイムリーな困り事の解決に繋がるように、検討したい内容があれば事前にテーマを募集する。
- ・ケアマネジャーとの連携に向けた取り組みは、あんしんすこやかセンターと共催で企画実施する。
- ・相談支援専門員同士が悩みを共有し、情報交換をしながら、相談者の困り事を通して地域課題を整理していく。
- ・個別支援会議であがった課題についても部会内で共有し、議論する。

3区（兵庫区・長田区・須磨区）合同相談支援部会 活動報告

日時	場所	参加人数	内容
10月3日（木） 16:00～17:30	兵庫区役所	17名 ※3区では 計56名	令和6年度 障害サービス報酬改定についての勉強会 ・「意思決定支援」「相談支援体制の強化の取り組み」 「地域体制共同強化加算」について各区が調べた内容の発表 ・グループワーク（意見交換）

【成果】

- ・令和6年度障害サービス報酬改定の項目の中から、日頃の業務に関係する「意思決定支援」「相談支援体制の強化の取り組み」「地域体制共同強化加算」の3テーマに絞り込み、他区の相談支援専門員と共に制度の理解を深めることができた。
- ・医療・保育・教育機関と連携することの重要性や、サービス担当者会議を開催することで支援の方向性や各機関の役割を共有することが大切であることに気付くことができた。

【課題】

- ・加算は積極的に算定するべきだが、まだ理解が難しい点がある。返礼になることが怖くて加算を請求しない場合もある。

【令和7年度に向けて】

- ・協議会の役割を踏まえ、各区で出た課題をまとめ、他の関係機関とお互いの役割を知り合う機会に繋がるような取り組み内容を検討する。